

社会学フィールド調査法

科目ナンバリング SOC-203
選択必修A 2単位

佐藤 齊華

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、質的社会調査の代表的技法であるフィールドワークとは何かについて基礎的理解を形成し、それを実践するための前提となる知識・スキル・姿勢を形成することをめざすものである。フィールドワークの入門書とフィールドワークの研究成果である民族誌をあわせて読み込みながら授業内で議論・討論を重ねるとともに、フィールドワークにおいて用いられる個々の調査方法(参与観察やインタビュー)の実習も授業内でを行い、実際の調査技術の修得もはかっていく。

社会認識に不可欠のツールとして今日広く利用されているフィールドワークを学ぶことは、単に一つの社会調査技法を知るというにとどまらない、社会を見る新たな眼を獲得することにもつながっていくだろう。

2. 授業の到達目標

- ・フィールドワークがどのような社会調査の方法であり、社会に関するどのような問いを明らかにできるかについて説明できるようになる。
- ・フィールドワークによって追究するのにふさわしいサーチ・クエスチョンを立て、それに応じた調査計画を立案できる。
- ・後期授業「社会学フィールドワーク」でフィールドワークを実践するための準備ができていく。

3. 成績評価の方法および基準

出席は単位修得の前提である。授業への参加(20%)、授業中の発表(20%)、実習課題(20%)、民族誌レポート(20%)、および期末に提出してもらった模擬フィールドワーク計画書(20%)を総合して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

佐藤 郁哉 『フィールドワーク(増補改訂版)』 新曜社(2006年)

参考文献

佐藤 齊華 『彼女達との会話:ネパール・ヨルモ社会におけるライフ/ストーリーの人類学』 三元社(2015年)

5. 準備学修の内容

- ・毎回授業でとりあげる教科書の箇所について予め読みこんで疑問点等についてまとめ、授業内でのディスカッションに備える。
- ・担当したテキスト箇所の発表を準備する。
- ・実習ごとにレポートをまとめる。民族誌を読みレポートをまとめる。模擬フィールドワーク計画書を作成する。

6. その他履修上の注意事項

実習やペアないしグループ・ワーク、プレゼンテーションの担当を含む参加型の授業である。授業への積極的参加と自習への取り組みが重要となるので、それを踏まえて取り組んでほしい。

7. 授業内容

- 【第1回】 <オンライン授業>イントロダクション:授業案内
- 【第2回】 フィールドワーク入門書を読む(1):フィールドワークの定義・歴史・概要
- 【第3回】 フィールドワーク入門書を読む(2):様々な調査技法のなかのフィールドワーク
- 【第4回】 フィールドワーク入門書を読む(3):サーヴェイ型調査との比較検討
- 【第5回】 フィールドワーク入門書を読む(4):フィールドワークで用いられる諸技法
- 【第6回】 フィールドワーク入門書を読む(5):フィールドへのアクセス
- 【第7回】 フィールドワーク実践練習(1):インタビュー
- 【第8回】 フィールドワーク入門書を読む(6):調査対象者との関係性
- 【第9回】 <オンライン授業>フィールドワーク実践練習(2):参与観察
- 【第10回】 フィールドワーク入門書を読む(7):調査倫理とフィールドワーク
- 【第11回】 民族誌を読む(1)
- 【第12回】 民族誌を読む(2)
- 【第13回】 民族誌を読む(3)
- 【第14回】 模擬フィールドワーク計画書の検討
- 【第15回】 フィールドワークの実践に向けて:後期授業への橋渡し